

日本顕微鏡学会 ソフトマテリアル分科会 第17回講演会のご案内

拝啓 時下ますますご清祥のこととお喜び申し上げます。

さて、このたびソフトマテリアル分科会では、第17回講演会を下記のとおり開催いたします。

本年度第1回となる今回は、「ソフトマテリアルを走査型電子光学系で観る その1」と題し、当該分野でご活躍中の研究者・技術者の方々をお招きしてご講演いただきます。ソフトマテリアルの構造と機能に関する理解を深めるとともに、最新の研究動向や技術について知見を得る貴重な機会となれば幸いです。

なお、「ソフトマテリアルを走査型電子光学系で観る その2」と題した第18回講演会を、2026年12月10日～11日に東レ三島研修センターにて開催予定です。ぜひご予定にお加えいただければ幸いです。

また、講演会終了後の15時20分より、「ラウンドロビンテスト円卓会議」を開催いたします。ご関心をお持ちの皆様におかれましては、ぜひ積極的にご参加くださいますようお願い申し上げます。

なお、今回は会場が例年とは異なり、ビジョンセンター東京八重洲（東京駅徒歩4分、日本橋駅徒歩1分）となっておりますので、ご来場の際はお間違いのないようご注意ください。

- 研究会テーマ: 「ソフトマテリアルを走査型電子光学系で観る その1」
- 主催: 公益社団法人 日本顕微鏡学会 ソフトマテリアル分科会
- 責任者: 東北大学 多元物質科学研究所 陣内 浩司
- 開催日時: 2026年7月22日(水) 10:00 - 15:00
- 場所: ビジョンセンター東京八重洲 9階905
(103-0027 東京都中央区日本橋 2-3-4 日本橋プラザビル 9F ※受付9階)
- 参加費: 会員: 3,000円 非会員: 5,000円 学生: 無料
- 申込方法: 2026年7月15日(水)まで、下記申込フォームよりお申込みください。
<https://forms.gle/R7VHS3XYhnM9hgbJ9>
- クレジット決済: メールリンク方式にて、クレジット決済が可能となりました。
ご希望の参加申込フォームにてクレジット決済希望にチェックをお願いいたします。
個別に、メールにて決済のためのURLをお送り致します。
メールの送信には1週間程度お時間をいただく場合がございます。
1週間経ってもメールが届かない場合はご連絡ください。
- 参加費振込先: ゆうちょ銀行【店名】〇一八(読み ゼロイチハチ)【店番】018
【預金種目】普通預金 【口座番号】9922872
【口座名義】シャ)ニホンケンビキョウガツカイ
2026年7月17日(金)までにお振込ください。
請求書が必要な場合は、参加フォームにその旨記載願います。
領収書の発行は当日会場での配布とさせていただきます。
領収書の宛名、内訳、但書等についての要望は、申込フォームによりご連絡ください。



【お申込みはこちら】



【会場アクセスはこちら】

プログラム（敬称略）

10:00-10:10 挨拶

10:10-10:50 「STEM を用いた半結晶性高分子の局所構造評価」
東京農工大学 箕田 弘喜

10:50-12:00 チュートリアル講演
「走査電子顕微鏡の鏡筒技術と観察方法について」
日本電子株式会社 野久尾 毅

12:00-13:30 休憩

13:30-14:10 「極低加速走査型電子顕微鏡を用いた材料最表面観察」
名古屋大学 徳永 智春

14:10-14:50 「高分子材料観察のための走査透過型電子顕微鏡法の光学条件の考え方」
東北大学 狩野見 秀輔

14:50-15:00 挨拶

15:00-15:20 休憩

15:20-17:30 ラウンドロビンテスト 円卓会議

【問い合わせ】

事務局:東北大学 多元物質科学研究所 陣内研究室 小林

TEL: 022-217-5329

E-mail: sachiko.kobayashi.c8@tohoku.ac.jp

ラウンドロビンテスト円卓会議について

当分科会では、2022年度よりラウンドロビンテスト（以下、RRT）を開始しました。この企画を立ち上げた背景には、ソフトマテリアルの研究に新しく関わり始めた方々が形態観察を試みた際に、生物系試料では先達の知見を参照して試料作製をトレースできることが多い一方で、材料系試料では前処理の方法や条件に関する情報の入手が難しいという課題があります。では、なぜ詳細な方法や条件が明記されていないのでしょうか？方法や条件が明らかであればトレースできるのでしょうか？この問いを考察し、検証するために RRT の参加を呼びかけました。

初回は自動車用バンパー材を、2回目は ABS を共通試料として、初級者から熟練者まで各研究機関や企業の研究者数十名に配布し、それぞれが自身の方法で試料を調製し、その観察結果を円卓会議で共有しました。今回は、共通試料第3弾 HIPS（ヤクルト容器）の初回の円卓会議となり、観察事例の紹介がメインとなりそうですが、共通の課題が見えてきましたらその点を議論したいと考えています。

これまでに RRT に参加されていない方でも、興味をお持ちの方はこの円卓会議にご参加いただけます。講演会に参加される方であれば、RRT 円卓会議への新たな申し込みは必要ありません。皆様のご参加をお待ちしております。

【問い合わせ】

東北大学 多元物質科学研究所 陣内研究室 小林(sachiko.kobayashi.c8@tohoku.ac.jp)